
山形県護国神社「2021年度の新作絵馬」を日本画学生が4か月をかけて制作
新作の巨大絵馬を11月30日の「奉告祭」にて奉納・お披露目します



学生が制作した絵馬を検討する様子



今回採用された米田あかねさんの絵馬

東北芸術工科大学（山形市／学長 中山ダイスケ）では、昨年度に引き続き、山形県護国神社より「2021年度の干支（丑）」を主題とした絵馬の原画制作依頼を受け、日本画家の末永敏明美術科日本画コース教授指導のもと、同コース学生6名が夏季休暇期間で図案（7案）を制作。このたび、その中から採用された米田あかね（ヨネダ・アカネ）さんの「2021年度の新作絵馬」を、2020年11月30日（月）に、山形県護国神社の神前での「奉告祭」にて奉納します。

この絵馬本体は、幅3m30cm×縦1m52cmで、中心の高さは1m82cmと巨大なもので、年間を通して護国神社中庭正面入口に掲示されます。また同神社では、この事業を今後、継続的活動となることを要望しており、次年度に向けては最終的な絵馬の設置日等、本学と連携しながら進めてまいります。

つきましては、ぜひ「奉告祭」取材いただきたく、お知らせいたします。

●2021年度の新作絵馬の奉告祭 概要

開催日：2020年11月30日（月）14:30～15:10

会場：山形県護国神社（山形市薬師町2丁目8番75号）

権禰宜：深瀬勉

出席者：末永敏明教授、米田あかね・藤田伊織・高橋美奈・土田柚衣（いずれも日本画コース学生）

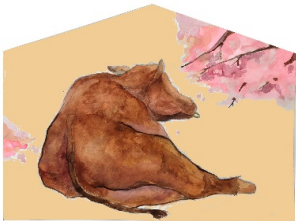
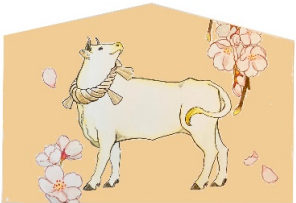





●受託概要

受託研究名：山形県護国神社絵馬制作業務

研究期間：令和2年6月1日～9月30日

制作原画(7案)

9月23日に同神社に届けた7案は、学生それぞれの持ち味が発揮され、内容の深い作品となっています。

2020 山形縣護国神社 絵馬原画			
1	藤田伊織		「気付く」をテーマに作成しました。今年と同様に来年も忙しい1年が予想されます。思わず目を逸らしてしまいたくなる毎日ですが、少し腰を下ろして休むことでふとした気づきに癒されて欲しいという願いを込めました。手を取ってくださった方の日常に素敵な気づきがあれば、本望です。
2	高橋美奈		神獣のようなウシをイメージして制作しました。ゆっくりと、しかし力強く堅実に足を運ぶウシが穏やかな新年をお届けできれば嬉しいです。
3	潟沼歩美		十二支の「丑」は「はじめ」「はじまる」の意があるそうです。2020年はコロナによって大変な年になってしまいましたが、2021年は前を向いて新しい年を始められるようにという願いを込めながら制作しました。
4	潟沼歩美		十二支の「丑」は「はじめ」「はじまる」の意があるそうです。2020年はコロナによって大変な年になってしまいましたが、2021年は前を向いて新しい年を始められるようにという願いを込めながら制作しました。
5	菊池ひかり		春の桜を見上げる牛の親子のゆったりとした穏やか時間を描きました。絵を見た時に穏やかな気持ちになれるように制作しました。
6	土屋柚衣		穏やかな春の日に咲く桜を見上げ、香りを楽しむ牛を描きました。この絵馬を手にとった方が幸せな気持ちになれることと、穏やかな一年が訪れることを願って制作しました。
7	米田あかね		新しい年を1歩ずつ着実に良い方向へ一緒に歩めるような牛を描きました。また、川を描くことで牛の穏やかさや日々の変化をイメージしました。

山形県護国神社「2021 年度の新作絵馬」奉告祭

ご出席のお申込み FAX 返信シート

FAX: 023-627-2081

(東北芸術工科大学 企画広報課 樋口 行)

開催日: 2020 年 11 月 30 日(月) 14:30~15:10

会場: 山形県護国神社(山形市薬師町 2 丁目 8 番 75 号)

以下をご記入いただき、11 月 30 日(月) 10:00まで FAX にてご返信ください。

参加 ・ 不参加

御社名 _____

代表者氏名 _____

携帯番号 _____

参加人数 _____ (人)